

## 令和8年度 第1回 学校運営協議会 記録

R8.5.21 (木) 13:30~15:30

### ※外部参加者（学校運営協議会委員）

菅沼 泰夫氏（三方原地区根洗町自治会長）

内山 良彦氏（細江地区湖東自治会長）（欠席）

藤田 真人氏（社会福祉法人聖隷事業団 医療保護施設・地域医療支援病院  
総合病院 聖隷三方原病院 執行役員・事務局長）

尾関ゆかり氏（浜松市社会福祉事業団 浜松市発達医療総合福祉センター  
相談支援事業所シグナル 所長）

加藤 久貴氏（弁護士法人 リコネス法律事務所 弁護士）（欠席）

山田 浩昭氏（浜松学院大学 特任教授）

松本 浩一氏（本校 PTA 会長）

### ※校内参加者 校長、副校長、教頭（欠席）、事務長、小学部主事、中学部主事 高等部主事、訪問教育主任、教務課長、総務課長

### <学校運営協議会>

- 1 開会の言葉
- 2 校長挨拶
- 3 委員の任命
- 4 自己紹介
- 5 学校運営協議会概要説明 副校長より説明
- 6 会長・副会長・地域コーディネーターの選出  
会長…山田委員 副会長…尾関委員 地域コーディネーター…山田委員
- 7 本校概要説明 副校長より説明
- 8 校内一巡
- 9 令和8年度学校経営計画 校長より説明
- 10 学部経営（小学部・中学部・高等部・訪問教育） 各部主事、訪問主任より説明
- 11 意見・助言

・ A委員：経営計画の中に「連携」「協働」という言葉があり、PTAとしてもありがたい。ぜひ実践してほしい。

・ B委員：S-PDCA サイクルというのは、スタンダードなやり方なのか。

⇒校 長：PDCA サイクルとは教育現場でよく使われる方法。本校ではそこにS（実態把握）がついているのが特徴。

・ B委員：実態把握がついているのがよい。

・ C委員：特別支援学校の子供たちとの関わり方が分からず、どこから手をつけていけばよいか模索中。地域に福祉施設も多く、今年度は根洗地区独自の児童会を開く予定があるので、行事の見学をさせてほしい。

・ D委員：「つながり」を重視した計画だと感じた。子供、教師、地域同士の「つながり」が盛り込まれ、横のつながりの広がりが感じられた。就学前施設から西部特支の小学部へ入学し、高等部から私共の施設へ就労する、縦の

つながりも大切にしたい。また中学部の取り組みである「きらりほっと」を参考にしたい。(何でも言い合える関係性)

- ・ E 委員：経営計画の重要なところを重点目標にして計画されている。

「新しい教育課程」とはどのようなものか。

⇒教務課長：課題解決プロジェクトと題して、一昨年前から取り組んできた。改善したい点の積み重ねをもとに昨年度新たな教育課程を決定し、今年度から教科の学習を前面に出した教育課程を実践している。

- ・ E 委員：1年やってみて成果が見えてくる。学校全体で検討してきた経過も含めて素晴らしい。

## 12 第2回に向けて

- ・「つながり」をテーマに開催予定。

## 13 閉会の言葉